

令和4年度 社会福祉法人南砺市社会福祉協議会 事業報告

令和4年度は、支所廃止及び本所・サテライトの2拠点化までの一連の組織再編を進め、7月には社協本所を井波社会福祉センターへ移転することができました。皆様のご理解とご協力に感謝いたします。組織の拠点がコンパクト化したことにより、職員の相談体制も整い、業務をスピーディに遂行できるようになりました。今後も地域へのアウトリーチと必要な支援調整に努めてまいります。

本年度は第3次地域福祉活動計画の最終年度として、5年間の取り組みの総括を行いました。第3次計画の期間には、地区組織が地域づくり協議会に変わり、新しく福祉活動に関わる方が増えました。各地区では住民アンケートやよろず相談所などを実施して、課題解決やニーズに応えるための取り組みを進められています。また、見守り活動の重要性が年々浸透してきており、ケアネット研修や、ケアネットチームでの定期的な情報共有も多くの地区で定着してまいりました。

これらの成果も踏まえて、第4次計画の策定を行いました。40名の策定委員とともに、「みんながつながって助け合う体制を作っていこう」と次のステップを計画しました。新計画ではそれぞれの地区が作成した計画も盛り込んでおり、より具体的な取り組みが計画的に進められるようになりました。

ボランティアセンターでは、働く世代に福祉活動への関心を高めてもらえるよう、親子を対象とした「ふくし・ボランティア体験講座」を実施しました。次年度からは地区や企業との共催事業として「ふくし教育プログラムモデル事業」を始めることとしています。また、災害ボランティアセンター運営マニュアルの見直しを行い、次年度には見直したマニュアルを活用して、災害時連携協定を結んだ団体と連携しながら、災害ボランティアセンターの立上げ訓練を実施する予定です。

新規のごみ出し支援モデル事業では、ごみ出しが困難な世帯に地域のボランティアが有償でごみ出しを支援し、安心して暮らし続けることを目指す活動で4地区が取り組み始めました。

福祉センター等運営部門では、コロナ禍による利用者数落ち込みの回復が期待されましたが、現在も厳しい状況が続いています。また、施設の老朽化も進んでおり、今後の維持管理も懸念されます。

介護保険等サービス部門では、施設利用者と職員にコロナ感染があり、介護業務の停滞が危惧されましたが、幸いクラスターの発生には至らずに通常の業務を続けることができました。また、事業継続計画（BCP）の策定及び見直し、職員研修を行ったことで、有事に備えてどのような行動が必要かなど、職員の意識向上にもつながりました。

ロシアのウクライナ侵攻に端を発した世界経済の悪化から当会の施設全般の経常経費が、電気料や燃料代など光熱費の高騰により大幅に増加し、その対応に苦慮しております。これに加え次年度からは消耗品等の値上げも予定されており、これらに対応するため、福祉施設の料金改定や運営の見直し等を進め、利用される皆様のご理解をいただきながら施設を運営していきたいと考えております。

1 法人運営部門

1 法人運営事業

(1) 本所、サテライトの運営管理

事務所の管理運営及び社協活動車両10台の維持管理。

令和3年度末に支所を廃止し、4月から本所（井口）と東・西サテライト（井波・福光）の計3事務所を運営。7月に本所を井波へ移転し、本所とサテライト（福光）の2拠点となった。車両は3台を経年劣化により廃棄処分した。

(2) 理事会の開催

理事12名。業務執行上の事項及び当面する課題について協議。

回	開催日	議案
1	6月3日	①令和3年度事業報告について ②令和3年度収支決算について ③令和4年度補正予算（第1次）について ④定款の一部変更について ⑤事務局規程の一部改正について ⑥表彰規程の一部改正について ⑦評議員候補者の選定について ⑧令和4年度第1回評議員選任・解任委員会の招集について ⑨役員候補者の選定について ⑩令和4年度定時評議員会（第1回評議員会）の招集について 協議：監事の選出について 報告：会長・常務理事の職務執行状況（10～3月）について 法令による情報開示について
2	11月10日	【決議の省略】 ⑪給与規程の一部改正について
3	12月15日	【決議の省略】 ⑫令和4年度補正予算（第2次）について ⑬役員候補者の選定について ⑭評議員候補者の選定について ⑮土地（基本財産）の処分について ⑯育児又は介護休業等に関する規則の全部改正について ⑰就業規則の一部改正について ⑱臨時職員等雇用規程の一部改正について ⑲令和4年度第2回評議員会の招集について 協議：地区福祉活動助成事業について 表彰規程について 報告：会長・常務理事の職務執行状況（4～9月）について 福光温泉旧ふれあいホールの雨漏りによる天井崩落について
4	1月10日	【決議の省略】 ⑳評議員選任・解任委員の選任について ㉑苦情解決第三者委員の選任について ㉒令和4年度第2回評議員選任・解任委員会の招集について
5	3月23日	㉓令和4年度補正予算（第3次）について ㉔就業規則の一部改正について ㉕給与規程の一部改正について

	②⑥再雇用職員に関する規程の一部改正について ②⑦臨時職員等雇用規程の一部改正について ②⑧令和5年度事業計画（案）について ②⑨令和5年度収支予算（案）について ③⑩役員等賠償責任保険契約の締結について ③⑪苦情解決第三者委員の選任について ③⑫令和4年度第3回評議員会の招集について 協議：福光老人福祉センターの料金の見直しについて 福野老人福祉センターの入浴日の見直しについて 報告：役員改選スケジュールについて 山林の売却について
--	---

(3) 評議員会の開催

評議員23名。業務執行上の重要事項について審議、決定。

回	開催日	議 案
定時 1	6月20日	①令和3年度事業報告について ②令和3年度収支決算について ③令和4年度補正予算（第1次）について ④定款の一部変更について ⑤役員を選任について 報告：法令による情報開示について 福祉充実残高の算定について
2	12月23日	⑥令和4年度補正予算（第2次）について ⑦役員を選任について ⑧土地（基本財産）の処分について 報告：本所電話番号の変更について 地域福祉課より
3	3月29日	⑨令和4年度補正予算（第3次）について ⑩令和5年度事業計画（案）について ⑪令和5年度収支予算（案）について 報告：山林の売却について 福光老人福祉センターの料金の見直しについて 福野老人福祉センターの入浴日の見直しについて

(4) 評議員選任・解任委員会の設置

委員3名。理事会の推薦を受けて評議員の選任について審議、決定。

回	開催日	内 容
1	6月13日	①評議員の選任について
2	1月19日	②評議員の選任について

(5) 監査会の開催

監事3名。運営管理、事業の執行状況及び財産の状況についての監査を実施。

回	開催日	内 容
1	5月20日	令和3年度決算監査
2	7月29日	4～6月分、固定資産・施設の現地監査（平高齢者生活福祉センター）
3	10月27日	7～9月分、固定資産・施設の現地監査（利賀高齢者生活福祉センター）
4	1月31日	10～12月分

(6) 役員等研修の実施

10月19日 社会福祉連携協働セミナー パレブラン高志会館 1名参加

(7) 社会福祉法人地域公益活動推進事業

市内の8社会福祉法人が連携して、ふくし出前講座や人権研修会を実施した。

(8) 南砺市社会福祉大会の開催

式典において、長年にわたり福祉活動に尽力された方を表彰した。

開催日 11月17日

会場 南砺市城端伝統芸能会館「じょうはな座」

参加者 被表彰者20名・3団体 福祉関係者115名

(9) 表彰選考委員会の開催

9月27日 市社協会長表彰候補者の選考

(10) 指定管理者業務に伴う事務の適正管理

五箇山ホームヘルプステーションおよび平・上平・利賀デイサービスセンター、平生活支援ハウス（指定管理期間：H29. 4. 1～R6. 3. 31）の指定管理者として管理運営した。

(11) 職員研修体制の充実

内部研修及び外部研修への参加により職員の資質向上を図った。

【内部研修】

11月18日～12月22日

介護職員研修（4事業所）

参加者 16名

内容 利用者様との関係づくりにおいて、介護職員としての役割は何かを再認識するなど、各事業所において情報交換を交えながらカスタマーハラスメント研修を実施した。

2月16日 事業継続計画（BCP）職員ミーティング

参加者 14名

内容 策定した事業継続計画（BCP）の見直しを行い、職員間で情報共有を行った。

【外部研修】

開催日	研修名	主催	参加者
<総務・企画係主管>			
6月27日～28日	中堅職員研修（キャリアパス対応）	県福祉カレッジ	1名
9月5日	社会福祉法人経理事務研修	県社協・経営協	1名
9月20日～21日	中堅職員研修（キャリアパス対応）	県福祉カレッジ	1名
2月1日～2日	管理職員研修（キャリアパス対応）	県福祉カレッジ	1名
2月7日	社協事業継続計画（BCP）策定支援研修 *オンライン	県社協	3名
2月7日～8日	初任者研修（キャリアパス対応）	県福祉カレッジ	1名
2月9日～10日	チームリーダー研修（キャリアパス対応）	県福祉カレッジ	1名
<在宅福祉係>			
5月30日	地域ケア合同研修会	南砺市	2名
9月27日	地域ケア合同研修会	南砺市	2名

10月26日	デイサービス部会	県デイ協	1名
11月11日	認知症介護基礎研修	県介護福祉士会	1名
12月15日	3市合同施設ボランティア受け入れ担当職員研修	3市社協	1名
12月20日	事業継続計画（BCP）策定支援セミナー（訪問系）	富山県	1名
12月20日	砺波地区会職員研修会	県デイ協	2名
3月24日	地域ケア合同研修会	南砺市	1名

<地域福祉係>

6月30日	生活支援コーディネーター養成研修	県厚生部	1名
8月24日、30日	ケアネット活動コーディネーター研修	県社協	1名
10月16日	災害救援ボランティアセンター設置等訓練	県社協	2名
10月20日～21日	地域包括ケアとコミュニティソーシャルワーク研修 (前期)	県社協・福祉カレッジ	2名
10月28日	重層的支援体制整備事業移行支援研修	県厚生部	2名
11月16日	県地域包括ケアシステム支援研修会	県厚生部	1名
11月16日	東海北陸ブロック市区町村社協職員研究集会	石川県社協	2名
12月6日	地域防災対応力強化研修	県社協・福祉カレッジ	1名
12月7日～8日	地域包括ケアとコミュニティソーシャルワーク研修 (後期)	県社協	1名
1月19日	県福祉教育セミナー	県社協	2名
1月27日	地域福祉実践研究集会	県社協	5名
2月17日	コミュニティソーシャルワークフォローアップ研修	県社協	1名
3月3日	権利擁護支援シンポジウム（WEB開催）	成年後見センター	1名
3月17日	県ライオンズクラブ&社協合同アラートセミナー	ライオンズクラブ	1名

<福祉サービス係>

9月1日～2日	家計改善支援事業従事者養成研修 *オンライン	全社協	2名
9月22日	生活支援員基礎研修会	県社協	2名
11月11日	身元保証事業に関する研修会 *オンライン	基幹相談支援センター	1名

(12) 実習指導者の育成、実習生の受入れ

社会福祉士養成課程における相談援助実習
令和4年度 実績なし

(13) 苦情解決体制

本会が行う事業に係る住民や利用者等からの苦情について、解決に向けて適切に対応するための体制を整えた。

- ・事業所ごとに苦情解決責任者、苦情受付担当者を設置
- ・社会性や客観性を確保するため社協外の体制として第三者委員を3名委嘱
- ・苦情解決に必要な知識を学ぶため外部研修に参加

3月16日 福祉サービス苦情解決研修会 *オンライン 委員2名、職員1名

(14) ホームページの刷新、情報発信

分かりやすく使いやすい情報媒体としてホームページをリニューアルした。

(15) 経営基盤の強化

住民や市内企業等へ社会福祉協議会会員加入及び会費納入を依頼し、地域福祉活動の資金として活用した。また、事業および会費への理解が得られるよう、使途を広報等で周知した。

		R2年度	R3年度	R4年度
一般会員 (市内全世帯)	件数	13,827件	13,662件	13,274件
	金額	5,537,950円	5,477,530円	5,315,730円
賛助会員 (活動に賛同する法人)	件数	229件	221件	206件
	金額	1,054,000円	964,000円	891,000円
特別会員 (個人)	件数	189件	200件	192件
	金額	223,000円	223,000円	222,500円

(16) 主な修繕 (10万円以上)

・本所	電気通信配線改修工事	1,014,200円
・本所	電話機能強化工事	599,500円
・本所	会館看板書替及び設置工事	242,407円
・サテライト	会館看板書替	195,800円

(17) 固定資産取得支出 (10万円以上)

・サテライト	電話交換機更新	838,200円
--------	---------	----------

(18) 更新及び取得した主な設備・備品 (10万円未満)

・サテライト	置き型手すり	47,320円
・サテライト	長椅子	25,900円

(19) 職員5名の人件費

2 委員会活動事業

(1) 第4次南砺市地域福祉活動計画 策定委員会の開催

委員40名 (アドバイザー含む)

地域における福祉活動推進状況の把握及び課題を整理し、第4次地域福祉活動計画策定に向けて進め、冊子700冊、概要版700部作成した。

開催日	内 容
5月17日	骨子案の確認、キーワードごとの課題、解決策について
9月29日	素案の確認、解決策の再検討
12月20日	原案審議

3 基金運営事業

(1) 地域福祉振興積立金の管理

地域づくり協議会への助成や社会福祉事業の円滑かつ効果的な実施のための積立金取崩及び事業収益の積立。

- ・社会福祉事業振興基金 100,000,000円
- ・地域福祉振興積立金

R3年度末積立金額	R4年度積立て額	R4年度取崩し額	R4年度末積立金額
62,730,000円	1,160,000円	5,470,000円	58,420,000円

4 退職手当積立事業

(1) 全国社会福祉団体職員退職手当基金

- ・正規職員27名の加入
- ・退職手当給付金の支給 (退職者 2名)

2 地域福祉推進部門

5 地域総合福祉推進事業

(1) 地域総合福祉推進事業（ケアネット型）助成

要支援者に対する見守りなどの活動費や、活動者や地域住民を対象とした研修会等の経費として、30地区の地域づくり協議会へ上限25万円（総額7,000,000円）を助成した。

《ケアネット活動実績》

	R2年度	R3年度	R4年度
ケアネットチーム数	188チーム	183チーム	189チーム
ケアネットチーム員数	849人	789人	820人
支援対象者数	1,213人	1,143人	1,141人
支援回数	45,530回	46,082回	40,863回

(2) ケアネットセンター運営事業

ケアネット活動の推進と活動者の支援を目的に、ケアネット活動コーディネーターを配置し、チーム員と関係機関等との連絡調整や、各地区で開催される研修会に参加した。

① ケアネット活動普及啓発と地域づくり協議会への支援

	R2年度	R3年度	R4年度
各地区での事業説明と活動助言	21件	25件	23件

② 個別支援への対応

	R2年度	R3年度	R4年度
ケース会議の開催（参加含む）	13件	11件	14件
新規サービスプログラム数	2件	2件	2件

③ 関係機関との連携

- ・24時間定期巡回サービス事業所、市地域包括支援センター、居宅介護支援事業所との合同連絡会を2ヶ月ごとに開催し、ケースごとの多職種連携を進めた。
- ・各地域の要保護児童対策地域協議会に出席した。
- ・ケアネット活動協力企業への登録依頼

	R2年度	R3年度	R4年度
協力企業の登録数	14件	21件	40件

(3) ケアネット活動推進連絡会の開催

開催日	3月1日
会場	井波社会福祉センター
参加者	8名
内容	見守り活動を行う団体や関係機関等とケアネット活動における支援状況や課題を確認し、有償での生活支援や結ネット、災害時の支援について意見交換した。
成果	意見交換を通して、身近な地域での見守り活動やサロン開催の大切さを改めて理解するとともに、有償での支援やIoT（インターネットを利用した見守りサービス）の活用等、新たな支え合いの仕組みを構築していく必要性について理解を深めることができた。

(4) 第3次南砺市地域福祉活動計画（5年目）の推進

① 活動計画「地区での取り組み」の周知と推進

本計画の「地区での取り組み」を推進するため、地区福祉活動連絡会や各地区での研修会等で、現在取り組んでいる活動と把握している個別課題について意見を出し合い、課題に対する取り組みへの認識を共有した。

②ヒアリングの実施

生活支援コーディネーターが中心となり、地域運営組織が取り組む主な事業や運営体制に関する「理想」と「現実」を把握し、「地区での取組み」の推進を図るため、31地区でヒアリングを実施した。

③評価

5年目の評価及び第3次計画（5年間）の評価をまとめた。

地区の福祉活動計画 市内全31地区で作成（R4年度末）

（5）地域づくり協議会への対応

職員のチーム制で市関係課と連携しながら、担当地区からの相談に応じ、活動を支援した。

《地区訪問回数》 ※地域ヒアリング、地区計画作成相談、福祉部会会議、サロン等

城端	平・上平・利賀	井波・井口	福野	福光
47回	21回	46回	74回	103回

（6）ふくし出前講座の開催

社協事業の紹介、福祉活動への協力を呼びかけるため社協職員による出前講座を実施した。地域づくり協議会やサロン団体等にパンフレットを配布し、地域へ出向く機会が増えるよう取り組んだ。

9か所実施

講座内容	1	2	3	4	合計
	ケアネット	いのちのバトン	災害ボランティア	サロン	
実施回数	5回	2回	1回	1回	9回

（7）南砺市社会福祉大会（講演）の開催

8（1）障害者理解促進研修・啓発事業と合同開催とし、「地域でのつながりづくり」をテーマに、大学教授による基調講演、障害者支援施設の職員や当事者の方の発表、パネルディスカッションを行った。

（8）地域の取組みや市社協事業の情報発信

広報紙「なんと福祉」隔月発行、ホームページ及びブログ更新

	R3年度	R4年度
ホームページ更新回数（ブログ含む）	145回	154回

（9）職員5名の人件費（ケアネット活動コーディネーター1名含む）

6 地域福祉ネットワーク事業

【市受託事業】

(1) 支え合いマップづくり

支え合いマップづくりを通して、要支援者や地域課題を把握するため、5地区にて実施。

	開催日	開催	会場	参加者	実施集落
①	6月5日	北野地区	北野交流センター	34名	北野、長楽寺、次郎丸、吉松
②	7月23日	福野南部地区	福野南部交流センター	36名	院林、広安、寺家、石田、田屋、八塚
④	10月23日	安居地区	安居交流センター	18名	川上崎、安居
⑤	10月29日	太美山地区	太美山交流センター	22名	太美、吉見、綱掛、立野脇、樋瀬戸、七曲、嫁兼、道場原
⑥	2月19日	広瀬館地区	広瀬館交流センター	32名	祖谷、館、小坂
内容	住宅地図を活用して、地域の生活課題や社会資源等を掘り起こし、住民同士の支え合いによる解決方法について話し合った。また、今後地区ごとにマップの更新を実践できるよう、手法や手順を参加者と共有した。				
成果	地域の特徴を可視化しながら情報共有したことで、高齢者世帯だけでなく、障がい者や支援を必要とする世帯、また集いの場などを把握することができた。地域住民が主体となって、ご近所での支え合いやケアネット活動の方法を検討する場となった。				

(2) 食品無料配布会

- ・食品を寄付されたフードドライブ実施団体 7団体
- ・食品無料配布会の実施 12月10日 来場者 21人

(3) いのちのバトン事業

パンフレットを新たに作成・全戸配布し、情報用紙更新の周知を図った。

また、ふくし出前講座にて、情報用紙を記入しながら重要箇所、実際に使用された例を説明し、参加者にいのちのバトンの必要性を伝えた。

(4) 職員1名の人件費

7 総合相談所運営事業

【市受託事業】

(1) ふくし総合相談センターの設置

市民の相談を総合的に受ける窓口を本所、サテライトに設置し、職員が随時相談に応じた。相談者に寄り添いながら関わりを継続したり、必要に応じて専門機関へつなぐなど、相談内容の解決に向けて対応した。

- ・相談カレンダーの全戸配布 年2回
- ・新規相談受付 224件 (R3年度 207件)

相談内容	ケアネット	ボランティア	居場所	生活困窮	生活福祉資金	日常生活自立支援	高齢相談	心配ごと相談等	計
	21件	6件	5件	10件	22件	13件	31件	116件	224件

(2) 心配ごと相談・法律相談・相続相談の開催

①心配ごと相談

どこに相談して良いか分からないような日常生活の困りごとについて、心配ごと相談員が親身に相談を受け、必要に応じ適切な専門機関へつないだ。

会場名	開設日数	相談者数(延べ)	相談員(延べ)
城端	6日	5名	6名
井波	12日	9名	11名
福野	6日	4名	6名
福光	12日	9名	10名
計	36日	27名	33名

相談内容内訳			
生計	6件	人権・法律	2件
年金	2件	財産	4件
職業・生業	2件	事故	0件
住宅	2件	児童福祉	0件
家族	2件	教育・青少年	0件
結婚	0件	障がい者福祉	3件
離婚	1件	母子父子福祉	0件
健康・衛生	1件	高齢者福祉	4件
医療	2件	苦情	1件
精神衛生	3件	その他	6件
計			41件

②法律相談

相続や、家族関係、金銭問題、賠償問題など法律に関する相談に応じた。

- ・開催回数 月1回(年12回)
- ・相談件数 55件
- ・相談員 富山県弁護士会 弁護士

③相続相談

複雑、多様化する相続問題に対し、市民が問題解決に向けて相談できるよう司法書士による相続相談を実施した。

- ・開催回数 年3回(6月、8月、10月実施)
- ・相談件数 5件
- ・相談員 富山県司法書士会 司法書士

(3) 心配ごと相談員研修の開催

開催日	6月28日
場所	南砺市井波社会福祉センター 3階 大ホール
参加者	18名
内容	講義・ワークショップ 「今こそ、地域の置き薬としての聴き役が効く！」 講師 富山国際大学 教授 村上 満 氏
成果	相談時に必要な傾聴の基本について理解する機会となった。ワークショップを交えて傾聴や話し方について実践することで、相談時の対応についても学ぶ機会となった。

8 障害者社会参加事業

【市受託事業】

(1) 障害者理解促進研修・啓発事業

地域に住む誰もが自分らしく生きがいを持って暮らしていけるよう、障がい者・児や生活に悩んでいる若者、引きこもり状態にある方々への理解を深め、関わりのきっかけをともに考える機会とした。

開催日	11月17日 ※社会福祉大会と合同開催
会場	じょうはな座
参加者	138名
内容	「地域でのつながりづくり」 1) 講演「たたえ合い、よりそえる社会づくりのために」 講師 富山福祉短期大学 教授 鷹西 恒 氏 2) 活動発表 ・多機能型事業所 花椿かがやき 管理者 坂田 佳永子 氏 ・放課後等デイサービス ステップ・バイ・ステップ 施設長 中川 和義 氏 ・社会福祉士 大森 永遠 氏 3) パネルディスカッション ・利用者や地域の方との関わりで大切にしていること ・地域の人にできることやお願い ・こんな地域になったらいいなという願い
成果	障害者施設等からの発表により、地域づくり協議会関係者のほか、企業や一般市民にも幅広く障害者理解を啓発する機会となった。

(2) ドリンクサービス事業

① ドリンクサービス

地域のサロンや関係団体の会議において、市内の障がい者施設利用者と協力してコーヒー等のドリンクを提供し、提供し、障がい者の社会参加の促進を図るとともに、地域住民への障がい者理解を深めた。

- ・開催回数 12回
- ・協力者数（延べ） 47名

② ドリンクサービス マナーアップ講座

サービス時のマナーの振り返り・向上を目指し、今後の活動の励みとなるよう開催。

開催日	3月2日
会場	井波社会福祉センター
参加者	3施設17名（当事者14名、職員3名）
内容	紅茶の話、いれ方、ドリンク提供時のマナーの振り返りについて 講師 ごしょカフェ 鍋澤 充孝 氏 飲み物を提供する際の基本的なマナーを復習するとともに、今回は、「紅茶のいれ方」を学び、より充実した内容でサービスを展開できるようにすることを目的に開催。また、事業所間の交流・情報交換の機会とした。
成果	新たに紅茶のいれ方を学ぶことで、コーヒーが苦手な方にもサービスを楽しんでもらえるきっかけとなった。また、コロナ禍で事業所間の交流の機会が制限されている中、貴重な情報交換の場を提供することができた。

9 福祉入門事業

【市受託事業】

(1) 手話奉仕員養成講習会 [基礎編]

※南砺市井波総合文化センター（代表企業(株)ホクタテ高岡支社）へ業務委託

開催日	5月13日～11月11日（毎週金曜日 全26回）
会場	井波総合文化センター
参加者	9名
内容	入門編と基礎編の2年1セットとしており、本年度は2年目の基礎編を実施した。 修了者 7名
成果	手話によるコミュニケーションを学ぶことを通して、聴覚障がい者への理解を深め、日常生活での活用を促す機会となった。

10 地区社協助成事業

(1) 地区福祉活動助成

地区福祉活動を推進強化するため社協会費を増額し、31地域づくり協議会へ総額5,180,159円を助成した。

11 ボランティア助成事業

(1) ボランティア活動団体へ助成

ボランティア活動助成金として18団体へ総額229,000円を助成した。

- ①定期的な活動部門 17団体
- ②事業の開催部門 1団体

(2) 市ボランティア連絡協議会へ助成

ボランティア活動助成金として500,000円を助成した。

12 各団体助成事業

(1) 各種団体活動へ助成

南砺市遺族会	738,000円
南砺市遺族会福光支部	140,000円
井波招魂社奉賛会	151,000円
南砺市老人クラブ連合会	186,000円（総額1,215,000円）

13 高齢者交流サロン事業

【市受託事業】

(1) 高齢者交流サロン事業の実施

①ふれあいいきいきサロン「定期交流型」「運動中心型」への助成

地域の身近な場所で、参加者相互の交流により介護予防と健康増進を図り、いきいきとした日常生活を送ることを目的に実施している28団体へ総額5,405,700円を助成し、継続的な運営支援を行った。

	実施単位・団体数		実施回数	参加人数	平均参加人数
定期交流型	地区単位	16団体	882回	11,958人	13.5人
	集落単位	3団体			
運動中心型	地区単位	5団体	478回	4,354人	9.1人
	集落単位	4団体			

②サロン機材の整備と貸出し

ふくし出前講座やサロン運営の相談等で貸出機材の紹介、周知を図った。

14 高齢者生きがい対策事業

【市受託事業】

(1) スポーツ教室等委託事業

高齢者がスポーツを通して健康でいきいきとした生活を送れることを目的とし、各地域でスポーツ教室等を開催する団体に業務委託を行った。

地域	事業名	主な内容	参加者(延べ)
井波	マレットゴルフ	定例練習会・講習会・交流大会の開催	349人
	カラオケ教室	練習会の開催	139人
井口	ペタンク	練習会の開催	620人
福野	ゲートボール	教室・講習会の開催、協議会への参加	2,220人
福光	ゲートボール	練習会・講習会の開催、大会への参加	1,540人
	ペタンク	練習会・研修会の開催、大会への参加	6,810人
	パークゴルフ	練習会・講習会の開催、大会への参加	913人

15 高齢者相談対策事業

(1) 生活支援コーディネーター活動事業 【市受託事業】

第2層生活支援コーディネーター5名を配置し、生活支援ニーズと既存の取り組みをつなぐ等のコーディネート業務を行った。

《地区福祉活動連絡会》

開催日	8月25日
会場	井波社会福祉センター
参加者	地域づくり協議会関係者、市関係課 54名
内容	1) 地区の取組み発表 菘谷地域づくり協議会、安居地区協議会 2) 情報交換（グループワーク） 「居場所づくり」「要支援者情報の共有」 3) 発表
成果	住民同士のつながりづくりや地域の課題解決に向けた事業の紹介、各地区で行っている共通した取組みについて情報交換する機会となった。

(2) 高齢者の総合相談窓口業務、実態把握事業 【市受託事業】

高齢者に関する相談ケースについて包括システムを活用し、関係機関と情報共有を図った。また、高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施のために、自宅訪問による高齢者実態把握調査を実施した。

- ・相談件数 78件
- ・実態把握調査件数 22件

(3) ごみ出し支援モデル事業（1年目）

日常生活でごみ出しが困難な世帯に対して、地域のボランティアが有償で支援を行う地域づくり協議会を募集し、応募のあった4地区へ活動費を助成した。

地区	支援世帯数	助成金額
大鋸屋地区	9世帯	158,700円
広瀬地区	6世帯	85,250円
菘谷地区	4世帯	45,600円
北野地区	1世帯	36,500円

16 ボランティアセンター運営事業

(1) ボランティアセンターの運営、センターの基盤強化

① ボランティアセンター運営委員会

	第1回	第2回
開催日	6月7日	2月16日
会場	井波社会福祉センター	井波社会福祉センター
参加者	13名	13名
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・委員長、副委員長の選出 ・令和4年度事業計画 ・ボランティア活動団体助成金審査 ・災害ボランティアセンター運営マニュアルの見直しについて 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度事業報告及び令和5年度事業計画（案） ・災害ボランティアセンター運営体験
成果	委員より所属団体の視点から意見を聞くことができ、また各団体での取り組みなどを情報共有することができた。	

② ボランティア相談支援業務

- ・ボランティア団体など活動者への相談受付、対応 延べ 571 件
- ・新規ボランティア希望者やボランティア募集希望の受付、対応 23 件

③ ボランティア登録業務

ボランティアコーディネート業務等を円滑に行うため登録管理データを更新し、ボランティア登録受付事務を進めた。

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
団体登録数	160団体	163団体	154団体	111団体
団体登録人数 ※延べ数	4,510人	4,396人	4,028人	3,741人
個人登録人数	13人	14人	9人	6人
登録人数合計	4,523人	4,410人	4,037人	3,747人

④ ボランティア活動保険加入普及業務

加入者数 2,448 名

⑤ ボランティア情報発信業務

広報紙「なんとの福祉」やホームページ、ブログを活用し、情報を発信した。

(2) 福祉教育の推進、ボランティア活動参加の促進

① 福祉教育プログラムへの支援

福光東部小学校6年生 「東部 ○○でつながり隊 ～ふだんのくらしをしあわせに～」学年主任より「『ふくし』を学ぶことで、児童たちが様々な人と出会い、たくさんの人生観に触れ自分たちの将来について考えてもらいたい。」と相談を受けた。

障がい者やボランティア、福祉施設職員と出会い感じた児童の思いを取り入れたプログラムを実施。

- 6月 『ふくし』・社協についての出前講座
- 7月 車いす生活者との出会い
- 9月 視覚障がい者との出会い
- 9月 日直が車いすで1日学校生活（1ヵ月間）
- 9月 車いすでの外出体験
- 11月 ボッチャでの交流会
- 12月 市長提言・学びの発表

※花と緑の銀行活動者や高齢者施設職員との出会いは学校が企画

②ふくし・ボランティア体験講座 ボッチャ交流会

開催日	3月12日
対 象	福光東部小学校児童及び保護者 6組13名参加 福光東部小学校校下3地区の住民（山田、北山田、吉江地区） 10名参加 障がい者（車いす利用者） 1名
内 容	車いす生活者とのボッチャ交流会 各地区に分かれて地区のマップを使ったグループワークを実施
成 果	参加した地域住民より、子どもと障がい者の方とが直接交流する機会は少ないため、今回の事業をきっかけに地域づくり協議会単位でも開催したいとの意見があった。

③「福祉教育・ボランティア学習会」の開催（砺波市・小矢部市・南砺市3市合同）

開催日	6月23日
場 所	砺波市社会福祉協議会 *オンライン
対 象	3市内の学校教職員
参 加	南砺市15名
内 容	児童・生徒がSDGsに関心を持ち、環境問題や不平等・格差など、さまざまな問題を考えていくため、教育・福祉関係者がSDGsについて学び、今後の福祉教育に活かすことを目的に開催した。 講義 「子どもたちとわくわく楽しむはじめてのSDGs」 講師 一般社団法人 SDGs支援機構 深井 宣光 氏
成 果	SDGsの内容について理解を深めることができた。児童・生徒に関心を持てるような取り組みなどを紹介し、今後の学習を進める参考となった。

④学校等での福祉の授業やゲストティーチャー派遣

小学校 2校 高等学校 1校

(3) 災害救援ボランティア活動

①災害ボランティアセンター運営マニュアルの見直し

市福祉課と見直しに向けて打合せを行い、事業継続計画（BCP）や市地域防災計画との関連、今後の取り組みについて協議した。

②災害ボランティアセンター運営体験の実施

見直した運営マニュアルに基づき、ボランティアセンター運営委員とともに、災害時のボランティアセンター運営内容を確認した。

③災害時連携協定の締結

締 結 日： 12月21日

締結団体： 南砺市、となみ青年会議所

(4) 3市合同施設ボランティア受入れ担当者研修会（砺波市・小矢部市・南砺市3市合同）

開催日	12月15日
会 場	ハイブリット方式（会場参加とオンライン参加を選択）開催
対 象	3市内の福祉施設、病院（市内64施設）
参加者	20名（砺波5名、小矢部7名、南砺8名）
内 容	現在のボランティア受入れ状況やコロナ流行前後での受入れ方法の変更点等について、各市1施設より発表し、情報交換を行った。
成 果	他施設の現状や対応策を知ることで、各施設での実践のヒントを得ることができた。受入れ自粛中の施設にとっても、前向きに検討するきっかけとなった。

17 ボランティアコーディネーター設置事業

(1) ボランティアコーディネーターの設置

ボランティアコーディネーターとして職員4名の人件費

18 児童生徒のボランティア活動普及推進事業

(1) 児童・生徒のボランティア活動普及事業

市内の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校及び総合支援学校の19校を推進校とし、体験学習等の事業費の助成を行った。

19 共同募金一般募金配分事業

(1) 広報紙の発行

広報紙「なんと福祉」第194号（4月25日発行）～199号（2月25日発行）の発行。
地域の取り組みや市社協事業の紹介、ボランティア情報の提供を行った。

(2) だれでもサロン支援事業の実施

年齢や障がいの有無等に関わらず、地域の身近な場所で誰もが気軽に集える居場所づくりを目的に実施している117団体へ総額2,563,000円を助成し、継続的な運営支援を行った。

	実施単位・団体数		実施回数	参加人数	平均参加人数
だれでも型	地区単位	23団体	1,403回	17,694人	12人
	集落単位	94団体			

(3) 外国人支援事業 welcomeカフェ

市内在住の外国人が、悩みを抱えて生活を送っている現状があり、気軽に会話や相談できる居場所として外国人の居場所づくりを目的としたwelcomeカフェを定期的実施した。
また悩みや相談を受け、関係機関を紹介するなど、外国人が安心して生活を送れるよう相談できる場所として開放した。

開催場所	サテライト ボランティア室		
開催日	偶数月第2土曜日（13：30～16：00）	合計6日	※8月より実施
参加者	延べ6名		

(4) 憩いのステーション縁の木

地域の中で孤立している方の日中の居場所づくりを目的に開催。参加者のペースで過ごせる居場所を提供し、社会参加のきっかけづくりを行うとともに、職員が常駐し、誰でも立ち寄り、悩みを相談できる場所として開放した。

開催場所	サテライト ボランティアルーム		
開催日	第2・4水曜日（10：30～14：30）		
計32日	カフェ縁の木 第2土曜日（13：30～16：00）、第4水曜日（16：00～18：30）		
参加者	延べ112名		

(5) 各種事業へ繰出し

8 障害者社会参加促進事業へ繰出し（ドリンクサービス事業）

20 生活困窮者自立支援事業

(1) 生活困窮者自立支援、家計改善支援事業 【市受託事業】

①生活困窮に関する相談対応、関係機関との連携支援

- ・相談対応件数（延べ） 43件

②家計改善支援事業（市受託事業）

家計改善を必要としている要支援者に対し、家計再生に向けた課題の評価、分析、状況に応じた支援計画を作成し、自立を支援した。

- ・家計に関する相談件数 10件
- ・プランの作成 3件（うち、再プラン1件）

(2) 生活困窮者支援給付事業

生活に困窮している世帯を対象に、安定した生活を送れるよう状況に応じて必要な金品を給付し、相談支援を行った。また、関係機関と連携を図り、継続的な自立支援につなげた。

- ・給付に関する相談件数（延べ） 66件
- ・給付を行った件数 15件
- ・給付を行った人数 8人

(3) 職員1名（相談支援員として市へ派遣）

21 日常生活自立支援事業

【県社協受託事業】

(1) 日常生活自立支援事業

高齢や障がい等により福祉サービスの利用手続きや日常的な金銭管理を自分ひとりの判断で行うことに不安のある方に対して、生活支援員や専門員が定期的に訪問し日常生活上の様々な手続きや金銭管理等の支援を行った。

①利用契約件数

	R2年度末	R3年度末	R4年度末	新規	解約			
					本人希望	後見人等	死去	転出
認知症高齢者等	26件	19件	16件	1件	3件		1件	
知的障がい者	24件	22件	23件	3件	1件			1件
精神障がい者	16件	13件	11件		2件			
その他	4件	5件	5件					
合計	70件	59件	55件	4件	6件	0件	1件	1件

②生活支援員登録・活動状況

	R2年度末	R3年度末	R4年度末
登録数	56名	54名	56名
活動者数	44名	42名	41名

③支援回数

	R2年度	R3年度	R4年度
支援回数（延べ）	1,541回	1,407回	1,030回

④相談支援業務

新規利用相談	15件
利用者の各種利用手続き支援（延べ）	83件
ケース会議の開催（参加含む）	29件
日常生活自立支援事業に関する問合せ	11件
成年後見制度の関する問合せ	5件

（2）職員の事例検討会の開催

職員の担当ケースについて、情報共有や事業間連携を図るために開催。困難ケースに関しては事例検討を行い、よりよい支援方法を検討するとともに職員の資質向上を図った。

（3）南砺市生活支援員登録者研修会の開催

市内の生活支援員登録者を対象に、利用者理解及び対人援助技術の向上、生活支援員相互の情報交換・交流を図ることを目的として開催。

開催日	12月14日
会 場	井波社会福祉センター
参加者	24名
内 容	講師 富山県社会福祉協議会 地域福祉・ボランティア振興課 課長補佐 稲場 毅 氏 1) 講義「日常生活自立支援事業における利用者支援について」 「記録のポイント」 2) グループワーク 訪問時、利用者が不在の場合等対応に迷う場合について話し合った。
成 果	普段の活動において、対応に迷う場合の共通理解を図ることができた。

（4）職員3名（専門員）の人件費

2 2 生活福祉資金貸付事務事業

【県社協受託事業】

（1）県社協生活福祉資金の貸付事務

生活困窮世帯、低所得世帯、障がい者または高齢者の属する世帯に対し、県社協への資金の貸付手続きと、自立のために必要な相談支援を行った。

①資金貸付相談

生活困窮者自立相談支援事業、生活困窮者支援給付事業等と連携し対応した。また、生活費以外の相談については、他制度へつなげた。

- ・相談件数（延べ） 209件

②生活福祉資金貸付事業

- ・貸付中件数

資金名		R3年度末	R4年度末
総合支援資金	生活支援費	3件	3件
	住宅入居費	2件	2件
	一時生活再建費	2件	2件
福祉資金		0件	0件
教育支援資金		8件	9件
緊急小口資金		5件	6件
合 計		20件	22件

③生活福祉資金貸付事業（コロナ特例貸付）

・貸付中件数（R4.9 特例貸付申請受付終了）

資金名		R3年度末	R4年度末
緊急小口資金	（受付）市社協	124件	128件
	市内ろうきん	3件	3件
	市内ゆうちょ	6件	6件
総合支援資金	新規	38件	43件
	延長	5件	5件
	再貸付	14件	14件
合 計		190件	199件

④臨時特例つなぎ資金貸付事業

・貸付中件数 0件

⑤償還指導・督促状況

- ・借受人および連帯借受人、連帯保証人への督促・残額通知の送付（3か月毎） 延べ88件
- ・生活状況の確認や償還を促すための電話連絡・面談 延べ 8件

(2) 更新及び取得した主な設備（10万円未満）

- ・パーティション4台（窓付52,800円×2台、窓無38,500円×2台）

2 3 小口資金貸付事業

(1) 市生活支援資金貸付事業償還事務

①生活支援資金の償還状況

- ・利用契約件数 2件 ※内1件債務整理開始通知受付
- ・償還残高 136,000円（100,000円1件、36,000円1件）

②償還指導・督促状況

- ・6か月以上償還のない借受人に対する督促状の送付 1件
- ・借受人、連帯保証人に対する状況確認書・償還計画変更届の送付 1件
- ・生活状況の確認や償還を促すための電話連絡や訪問等 1件

3 福祉センター等運営部門

2 4 福野老人福祉センター運営事業

(1) 福野老人福祉センター「さつき荘」の運営

入浴施設を有する高齢者の憩いと健康増進を図る場として管理運営

①開館日数 242日 利用者数 3,471人

※風呂設備修繕のため12月28日・2月25日、大雪警報のため1月25日臨時休館

②利用状況

(単位：人、円)

区分		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
開館日数(日)		334	331	296	226	242	
利用	60歳以上・障害者	人数	5,920	5,020	2,746	2,783	3,195
		金額	1,776,000	1,506,000	823,800	834,900	958,500
	寿入浴券	人数	356	289	336	394	212
		金額	106,800	86,700	100,800	118,200	63,600
	60歳未満	人数	39	46	6	3	0
		金額	15,600	18,400	2,400	1,200	0
	減免	人数	97	157	92	60	64
		金額	14,550	23,800	11,550	6,300	9,600
	カラオケ	金額	74,100	73,600	30,900	37,600	66,700
	小計	人数	6,412	5,512	3,180	3,240	3,471
		金額	1,987,050	1,708,500	969,450	998,200	1,098,400
	自販機手数料等	金額	18,166	38,877	24,212	19,756	27,577
総合計	金額	2,005,216	1,747,377	993,662	1,017,956	1,125,977	
1日平均利用者数(人)		19.2	16.7	10.7	14.3	14.3	

(2) 利用促進のための取組み

- ・自主事業として「カラオケの日」「体操の日」「囲碁の日」を継続、新たに「脳トレの日」を設けた。
- ・南砺市入浴助成券事業に参画した。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止策として、検温の実施、消毒液の設置で安全・安心な運営に努めた。

(3) 主な修繕(10万円以上)

- ・風呂ろ過機配管修繕 345,021円
- ・風呂給湯ポンプ1基更新 195,800円

(4) 固定資産取得支出(10万円以上)

なし

(5) 更新及び取得した主な設備・備品(10万円未満)

なし

(6) 職員2名の人件費

施設長1名、施設管理員1名

25 福光老人福祉センター運営事業

(1) 福光老人福祉センター「福光温泉」の運営

温泉施設を有する高齢者の憩いと健康増進を図る場として管理運営

①開館日数 295日 利用者数 17,051人

※大雪警報のため1月25日臨時休館

②利用状況

(単位：円、人)

区 分		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
開館日数(日)		304	310	205	285	295	
利 用	一般入浴	人数	9,441	10,810	5,162	6,499	7,274
		金額	4,520,000	5,181,550	2,523,100	3,199,100	3,562,500
	寿入浴券	人数	3,517	3,308	2,647	3,289	1,863
		金額	1,758,500	1,654,000	1,323,500	1,644,500	931,500
	回数券	人数	8,154	10,405	5,224	7,425	7,914
		金額	3,480,000	4,385,000	2,150,000	3,137,500	3,385,000
	休憩料	人数	772	640	172	159	396
		金額	214,225	197,000	54,075	57,600	139,650
	小計	人数	21,112	24,523	13,033	17,213	17,051
		金額	9,972,725	11,417,550	6,050,675	8,038,700	8,018,650
フロント販売、自販機		978,680	850,180	526,435	609,490	745,510	
食堂、展示場賃貸料他		171,720	162,806	300,155	308,848	279,726	
販売等 計		1,150,400	1,012,986	826,590	918,338	1,025,236	
負担金収入		113,461	96,741	62,326	95,156	81,029	
総合計		11,236,586	12,527,277	6,939,591	9,052,194	9,124,915	
1日平均利用者数(人)		69.4	79.1	63.6	60.4	57.8	

(2) 利用促進のための取組み

- ・お得な回数券の販売を実施した。(5枚券購入で1枚追加)
- ・1階に個室を設置した。(少人数の利用者用)
- ・南砺市入浴助成券事業に参画した。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止策として、検温の実施、消毒液の設置で安全・安心な運営に努めた。

(3) 主な修繕(10万円以上)

- ・高圧受電設備修繕 605,000円
- ・浴槽水位調整槽ボールタップ取替修繕 126,500円
- ・玄関SUS手摺設置工事 165,000円
- ・男子風呂脱衣場排煙オペレーター修繕 660,000円
- ・昇温用ラインポンプ他修繕 181,137円

(4) 固定資産取得支出(10万円以上) なし

(5) 更新及び取得した主な設備・備品(10万円未満)

- ・オイルタンク設置 47,500円
- ・高圧洗浄機 55,000円 (2台)

(6) 職員3名の人件費

施設長1名、施設管理員2名

26 井波社会福祉センター運営事業

(1) 井波社会福祉センターの運営

各種団体の集会場・趣味の場として管理運営

①開館日数 314日 利用者数 10,100人

※利用申請のない日について、平日は17時15分で閉館とし、土日、祝祭日は休館とした。

※土日の開館時間は、利用申請のある時間帯のみとした。

※1階相談室を地域福祉課事務所とし、貸室業務を終了した。

※2階ボランティア室を総務課事務所とし、3階会議室を代替ボランティア室とした。

※大雪警報のため1月25日臨時休館

②利用実績

(単位：件、人、円)

区分		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
開館日数(日)		330	325	261	278	314
1F 談話室	件数	186	150	70	84	93
	人数	1,237	997	500	491	514
	金額	96,920	65,880	49,760	52,720	44,960
1F 相談室	件数	58	47	29	29	2
	人数	340	359	134	117	11
	金額	52,960	38,300	14,960	10,960	0
1F 娯楽室	件数	262	248	194	224	247
	人数	3,491	2,549	1,627	1,860	2,117
	金額	323,325	301,325	214,025	254,385	272,530
2F 研修室	件数	203	135	124	108	102
	人数	5,467	4,074	2,356	2,046	2,050
	金額	344,910	245,450	197,950	167,545	164,875
2F 児童文化室	件数	213	263	182	199	226
	人数	2,905	3,326	1,720	1,812	2,255
	金額	310,290	354,340	241,090	272,160	281,990
2F ボランティア室	件数	78	86	66	76	13
	人数	388	582	441	488	88
	金額	0	0	700	0	0
3F 会議室	件数	103	96	31	56	124
	人数	704	615	187	350	762
	金額	82,050	67,350	18,775	41,775	63,275
3F 大ホール	件数	133	130	52	83	117
	人数	4,188	3,538	1,027	1,816	2,303
	金額	281,690	227,175	97,515	161,375	224,240
総合計	件数	1,236	1,155	748	859	924
	人数	18,720	16,040	7,992	8,980	10,100
	金額	1,492,145	1,299,820	834,775	960,920	1,051,870
1日平均利用者数(人)		56.7	49.4	30.6	32.3	32.2

(2) 利用促進のための取組み

- ・若年層の来館促進を目的に、1階ロビーに児童書を配架した。
- ・本所移転に伴い、貸室利用以外の来館者に社協事業を周知するため、駐車場入り口に「南砺市社会福祉協議会」の看板を設置した。

- ・消防計画に基づき、施設職員、当館消防用設備点検業者と共に自衛消防訓練を実施した。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止策として、利用前後の消毒・換気・清掃、検温の実施、消毒液の設置で安全・安心な運営に努めた。

(3) 主な修繕 (10万円以上)

- ・自動ドア開閉装置取替工事 一式 308,000円

(4) 固定資産取得支出 (10万円以上)

- ・電話交換機更新 1,598,300円

(5) 更新及び取得した主な設備・備品 (10万円未満)

- ・玄関ホール等照明器具 一式 49,984円
- ・和室用掃除機 一式 37,400円

(6) 職員2名の人件費

施設長1名、施設管理員1名

27 井口社会福祉センター運営事業

(1) 井口社会福祉センターの運営

各種団体の集会場・趣味の場として管理運営

※管理は井口地域づくり協議会に委託

①開館日数 264日 利用者数 16,714人

※利用申請のない日は17時30分で閉館。

②利用状況

(単位：人、円)

区分		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
開館日数(日)		283	258	215	243	264
1F 集会室	人数	1,244	1,141	282	211	301
	金額	33,990	37,050	13,740	12,990	16,470
1F 談話室	人数	1,629	1,610	541	777	803
	金額	78,880	90,800	49,440	75,620	67,720
1F 面接休養室	人数	585	242	227	574	497
	金額	27,620	13,400	7,240	26,740	26,900
1F サロン室	人数	1,730	1,037	684	1,140	1,234
	金額	116,400	67,590	70,590	133,410	112,950
1F ボランティア室	人数	786	669	429	562	871
	金額	26,520	24,630	25,590	46,800	69,780
1F 調理室	人数	183	210	4	0	14
	金額	12,780	10,950	960	0	720
2F 大ホール	人数	5,538	4,627	4,028	4,668	4,919
	金額	57,760	40,440	291,560	335,820	332,960
2F 小ホール	人数	772	708	3,024	3,714	3,749
	金額	7,200	10,350	166,950	187,320	181,080
2F ワークルーム室	人数	129	12	0	156	229
	金額	12,200	1,300	0	6,400	6,960
2F 会議室	人数	579	568	275	369	574
	金額	86,780	71,840	50,500	55,640	57,040
2F 児童室	人数	4,157	3,795	2,884	3,556	3,523
	金額	2,100	800	126,480	126,800	123,200
総合計	人数	17,332	14,619	12,378	15,727	16,714
	金額	462,230	369,150	803,050	1,007,540	995,780
1日平均利用者数(人)		61.2	56.7	57.6	64.7	63.3

(2) 利用促進のための取組み

- ・井口地域づくり協議会主催による脳活「にこにこアート」を月に1回程度実施した。
- また、未就学児対象の体験教室「びよびよアート」を2回開催した。

(3) 主な修繕(10万円以上)

なし

(4) 固定資産取得支出(10万円以上)

なし

(5) 更新及び取得した主な設備・備品(10万円未満)

なし

28 すぱーく福野運営事業

(1) 屋内ゲートボール場「すぱーく福野」の運営

高齢者の生きがいづくりと健康増進の場として管理運営

※管理は福野ゲートボール協会に委託

①開館日数 359日 利用者数 4,445人

※利用申請のない日は17時30分で閉館。

②利用状況

(単位：人、円)

区分		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
開館日数(日)		359	360	313	331	359	
利用	100円	人数	4,346	5,006	4,792	4,654	4,445
		金額	434,600	500,600	479,200	465,400	444,500
	150円 (18:00~)	人数	4	0	0	0	0
		金額	600	0	0	0	0
	コート利用	件数	17	18	3	19	23
		金額	17,950	18,000	3,000	19,000	39,000
	小計	人数	4,350	5,006	4,792	4,654	4,445
		金額	533,150	588,600	548,200	550,400	483,500
自販機手数料等		0	2,635	19,283	18,656	19,735	
総合計		533,150	591,235	567,483	569,056	503,235	
1日平均利用者数(人)		12.1	13.9	15.3	14.1	12.4	

(2) 利用促進のための取組み

- ・ゲートボール協会を通じ、市外のゲートボール団体の利用PRを図った。
- ・障害者のコート利用料の減免を行った。

(3) 主な修繕(10万円以上)

なし

(4) 固定資産取得支出(10万円以上)

なし

(5) 更新及び取得した主な設備、備品(10万円未満)

なし

4 介護保険等サービス部門

29 ホームヘルプ事業

【市指定管理】

(1) 五箇山ホームヘルプステーションの運営

市指定管理施設として管理運営

事業所名 南砺市五箇山ホームヘルプステーション（平出張所含む）
事業所種類 訪問介護事業
介護予防・日常生活支援総合事業第1号訪問事業
指定管理期間 平成29年4月1日～令和6年3月31日（6/7年目）

①開所日数 243 日

②利用状況

（単位：人、円）

	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
開所日数（日）	253	256	269	269	243
延利用人数	2,321	2,214	1,940	1,797	1,339
延利用平均人数/日	9.2	8.6	7.2	6.7	5.5
平均実利用者数/月	26	25	21	19	20
平均介護度	1.6	1.5	1.6	1.6	1.9
介護事業収入	9,064,947	8,528,710	7,621,510	8,198,050	6,033,523

(2) 主な修繕（10万円以上） なし

(3) 固定資産取得支出（10万円以上） なし

(4) 更新及び取得した主な設備・備品（10万円未満）

ドライブレコーダー 94,556円（2台）

(5) 職員2名の人件費

30 デイサービスセンター運営事業

【市指定管理】

(1) 平、上平、利賀デイサービスセンターの運営

市指定管理施設として管理運営

事業所名 南砺市平デイサービスセンター
南砺市上平デイサービスセンター
南砺市利賀デイサービスセンター
事業所種類 地域密着型通所介護事業
介護予防・日常生活支援総合事業第1号通所事業
基準該当障害福祉サービス事業
指定管理期間 平成29年4月1日～令和6年3月31日（6/7年目）

①開所日数 平デイ 238 日
上平デイ 243 日
利賀デイ 243 日

②利用状況

平デイ

	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
開所日数	244	243	242	242	238
定員	18	18	18	18	18
延利用人数	3,045	3,107	2,828	2,020	1,938
利用平均人数/日	12.5	12.8	11.7	8.3	8.1
平均実利用者数/月	32	30	29	23	22
平均介護度	1.4	1.7	1.9	2.0	2.0
介護事業収入	24,692,389	27,230,892	26,152,984	18,941,030	18,180,903

上平デイ

	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
開所日数	244	243	221	242	243
定員	18	18	18	18	18
延利用人数	1,988	2,209	1,905	2,269	2,381
利用平均人数/日	8.1	9.1	8.6	9.4	9.8
平均実利用者数/月	20	20	23	28	27
平均介護度	1.9	1.8	1.9	1.9	1.5
介護事業収入 (障害福祉サービス事業収入含む)	17,846,617	19,428,165	18,259,720	20,553,018	21,023,190

利賀デイ

	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
開所日数	244	243	243	242	243
定員	10	10	10	10	10
延利用人数	2,056	2,168	1,855	1,537	1,600
利用平均人数/日	8.4	8.9	7.6	6.4	6.6
平均実利用者数/月	21	23	20	18	18
平均介護度	1.4	1.5	1.5	1.4	1.4
介護事業収入	17,334,855	19,302,425	17,531,640	13,365,160	14,098,117

③運営推進会議の開催

概要	利用者家族、地域住民の代表者等に提供しているサービス内容を明らかにすることにより、サービスの質の確保を図ること等を目的として義務付けられ、各地域密着型デイサービス事業所が開催するもの。(年2回)		
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・利用状況の報告(利用者数、利用者の平均要介護度等) ・活動状況の報告(行事開催状況、地域との交流状況、ボランティア受入等) ・施設運営管理状況の報告(修繕状況、ヒヤリハットの報告等) ・意見交換 		
	平デイ	上平デイ	利賀デイ
開催日	① 10月3日 ② 3月17日	① 9月29日 ② 3月28日	① 9月28日 ② 3月27日
参加者	① 9名 ② 9名	① 9名 ② 8名	① 9名 ② 11名

(2) 主な修繕 (10万円以上)

・平デイ	多目的トイレのウォシュレット便座更新	217,800円
	職員共用トイレ便座取替修繕	176,000円
	厨房内手洗器取替修繕	117,700円
	冷暖房設備補給水系統修繕	193,600円
	機械室内減圧弁取替修繕	280,500円
	寝台浴ストレッチャーキャスター修繕	138,600円
・上平デイ	KHP空調機室外機修繕工事	170,500円
・利賀デイ	屋根雪害修繕工事	117,700円
	トイレ換気送風機取替修繕工事	194,700円
	給湯ラインポンプ取替修繕工事	184,800円

(3) 固定資産取得支出 (10万円以上) なし

(4) 更新及び取得した主な設備・備品 (10万円未満)

ドライブレコーダー 386,474円 (8台)

(5) 職員16人の人件費

管理者3名、生活相談員3名、看護師2名、介護士・員4名、調理員3名、介護事務1名

3 1 生活支援ハウス運営事業

【市指定管理】

(1) 生活支援ハウスの運営

市指定管理施設として管理運営

事業所名 南砺市平生活支援ハウス

指定管理期間 平成29年4月1日～令和6年3月31日 (6/7年目)

①利用状況

	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
定員	12	12	12	12	12
平均実利用者数/月	8	6	5	5	4
利用料収入	1,154,458	1,027,639	694,659	737,176	515,891

※入居の申請及び判定は南砺市において行う。

(2) 主な修繕 (10万円以上)

・支援ハウス 洋式便器取替工事 291,500円

(3) 固定資産取得支出 (10万円以上) なし

(4) 更新及び取得した主な設備・備品 (10万円未満) なし

(5) 職員1名の人件費

生活援助員1名

令和4年度事業報告附属明細書

令和4年度事業報告には、社会福祉法施行規則第2条の25第3項に規定する附属明細書の「事業報告の内容を補足する重要な事項」はありません。